



## 第2学年学年通信

第10号

2017. 9. 29 (金)

文責 廣富恵美子

日増しに朝晩が涼しくなり、寒いとすら感じるようになり、3週間前に行われた運動会が、ずいぶん前のことに感じます。

運動会では、出場する競技で頑張る姿だけでなく、生徒席で応援している姿、役員として頑張っている生徒の姿をご覧いただけでしょうか。

徒競走では、走っている生徒の後ろから贈られる声援が、昨年よりも多いことに驚きました。学年間の生徒同士の横のつながりが広がってきたなあと感じます。また、ムカデリレーは練習の段階から、同じ班員同士がアイデアを出したり、意見の交換、威勢の良いかけ声とともに、終始こぼれそうな笑顔で練習に取り組んでいました。

また、今回の運動会では、2年生は裏方としても本当に良く頑張っていました。

数日前の朝の運動会に向けた準備のボランティア、当日朝の準備ボランティア、当日の後片付け……。それぞれの仕事を受け持つことを粋に感じて、前向きな気持ちですがすがしく仕事をしてくれました。本当に素敵な2年生の生徒たちです。

運動会の生徒会執行部の生徒の挨拶にも、「バトンの受け渡し……」といった、学校の中心が3年生から2年生へと引き継がれることを意味する言葉が多くありましたが、後期から1年間、生徒の中心となって学校をリードしていく生徒会役員選挙が、先日行われました。

生徒たちは、立候補者の話にしっかりと耳を傾け、自分たちの代表となる生徒会役員を選出するために、真剣に投票したと思います。2年生の生徒には、投票したかしないかにかかわらず、投票で選ばれた生徒会執行部の生徒を全員でしっかりと支えてほしいと思います。それも、学校の中心となる学年の一員を自覚して生活することの1つの行為です。



立ち会い演説会の様子



選挙を支える、選挙管理委員会のメンバー（右側）

また、来週には、第1回目の後期専門委員会も開かれます。「〇〇委員会でこんなことを取り組みたい」「今まで以上に充実した委員会活動となるように」という気持ちで、それぞれの委員会に立候補したのですから、活動や委員会の時間を、委員長・副委員長だけに任せろのではなく、自分たちでよりよい活動にしていくすべを考え、行動に移して欲しいと願っています。また、そういうことができると思える生徒たちだと思えるからこそ、期待しています。

